

岸ミツアキ

JAZZ ピアノトリオ CONCERT

2023 1.22(日)

開場/13:30 開演/14:00

橋本市サカイキャニング
産業文化会館(アザレア)

岸ミツアキ(p)
本川悠平(b)
横山和明(ds)

チケット料金(全席自由)

2,500円(当日3,000円)

岸 ミツアキ(ピアノ)

1961年、和歌山県生まれ。関西を中心に活動した後、1993年に拠点を関東に移す。

1997年以降リーダー・アルバム19作品をリリース、うち3作が老舗ジャズ専門誌の『選定ゴールドディスク』を獲得。

1999年、米国「コンコード・ジャズ・フェスティバル」を皮切りに、ドイツ、ロシア、キルギス、カザフスタン、韓国、オーストラリア、イタリアなど数々の海外公演を行っており、多岐にわたる活躍を認められ、和歌山県より「和歌山県文化表彰／文化奨励賞」、その後同県橋本市より「文化奨励賞」を授与される。最新アルバム「マイ・プレシャス・タイム」(2022年1月発売)は国際ショパンコンクールで話題となったイタリアのファッティオリ社製ピアノを用いてのレコーディングで、会心の内容は専門誌などで高く評価された。

本川 悠平(ベース)

早稲田大学でオーケストラとモダンジャズ研究会に所属。2007～09年、Erich Kunzel Jr.や金聖響などの指揮で東京フィルハーモニー交響楽団と共演。秀逸なソロ・プレイと安定したリズム・サポートが高く評価され、内外トップミュージシャンとの共演、またギリシャ、ベトナム、韓国、岸ミツアキとのロシアなど海外公演も多数。

横山 和明(ドラムス)

3歳からドラムを始め、高校在学中に渡辺貞夫カルテットの全国ツアーに参加、この模様はNHK「人間ドキュメント」で取り上げられた。約10年に亘って巨匠バリー・ハリス(p)の来日公演のドラマーを務め、数多くのアーティストのツアーやレコーディングに参加するなど、繊細な感性と誠実で落ち着いたドラミングには定評がある。



主催/岸ミツアキ友の会

後援/橋本市・橋本市教育委員会・橋本市文化スポーツ振興公社・PPMこうやぐち